

風をみる者

東野高等学校同村会会報
No.20 2023年冬号
東野高等学校同村会(同窓会)
〒358-8558
埼玉県入間市二本木112-1



国語科
此木淳一先生
1990年(平成2年)より勤務

東野高等学校卒業生の皆さん、お変わりありませんでしょうか。

私は六期生が一年生の年に赴任し、初めて担任を持ちました。その頃は制服も校則もなく、夏休みには当時二年生だった七期生や一年生だった十期生と一緒にクラス合宿(新潟の海で泳いだり、長岡の花火大会に行ったり)しましたね。覚えていてでしょうか。そして時代は流れ、そのメンバーの一人は二児の母となり、下の娘さんが本校に入学。すでに二年前に卒業しています。

当然のことながら昭和後期から平成初期世代が知る東野高校と平成後期・令和世代が知るそれは全く違います。それでも二世代に引き、違った素晴らしさを持つ東野高校での青春を選択してくれた卒業生の皆様に感謝申し上げます。

私はここ二十年間のほとんどを三年生とともに過ごしています。そこで生徒たちが対峙しなければならぬのが進路選択です。中学生まではほぼ全員が高校を目指し、あ

る意味流れに乗っていけば何とかなる場合もありますが、高校生になるとそういうわけにいきません。そこで我々は生徒一人一人に寄り添い、よりよい選択(単に合格させるという意味ではありません)の機会を提示して大学や専門学校、就職を決めていきます。

しかし、卒業後に進路変更してしまった卒業生もいることでしょうか。そして、どうしてもそのことが気にかかり、高校に足を向けられない、懐かしい先生に連絡を取ることができないという方もいるはず。では、我々教員はそういった卒業生に対してどう感じるか。実はまったくその逆です。むしろ、落ち込んだ時ほど来校または連絡してほしいと感じている先生が多いのではないのでしょうか。それが教員というものです。

THE ALICEの高見沢俊彦さんの父である榮さんは長らく中学校の校長を務めていましたが、「自分とは全く違う人生を歩んだ俊彦さんに対して葛藤はなかったのか」と若き教員に尋ねられてこう答えたそうです。

「子ども(息子のみならず、すべての子供の生き方)を信じてあげることだよ。」と。

あなたの生き方、それがすべての答え。そして、あなたに子どもがいるなら、その子の生き方がすべての答えなのだと思えます。



会報冬号連載企画

お世話になった先生方より

多くの卒業生がお世話になりました。現在も東野高校でご指導にあたられています。



芸術音楽科
大森久美子先生
1997年(平成9年)より勤務

卒業生の皆さん、お元気でいらっしゃいますか? 「長年東野を見てきた先生」ということで、この原稿の依頼を頂きました。自分自身ではそんなに長くはないだろうと勝手に若いつもりでいましたが、原稿を書くにあたって「何年東野高校に在職しているのだろう?」と思い、密かに数えてみました。十三期生の皆さんが入学してきた時に着任しましたので、今年度で二十八年目になります。え! そんなに経っていたのか?! と衝撃を受けたとともに、皆さんと過ごした日々を思い返してとても懐かしく感じています。

卒業生の皆さんは、東野高校を卒業後、様々なところで活躍されていることでしょうか。そんなことを想像するだけでも心が温かくなり、当時の高校生の姿のまま、私の中では皆さんを記憶しています。実は先日、とても嬉しかったことがありました。中学生対象の入試個別相談会に卒業生が自分のお子さんを連れて来校して下さいました。私を見つけて真っ先に相談ブースにいらつやいました。私自身、最初はまったく気付くことが出来なかったのですが、「卒業生です」という言葉と旧姓を伺って、当時高校生だった頃の彼女の姿を瞬間で思い出しました。お子さんを自身の母校へと導いてくれたことにとっても嬉しく、つい相談にも力が入り、話が長くなってしまいました。またその他にも、九月に行われた盃華祭に足を運び、在学当時を懐かしんでいた方もたくさんいました。そんな中でも小さなお子さんを連れて会いに来てくれたり、「探しました!」と大勢で顔を見せてくれたりしたことも本当に嬉しかったです。近況を話す皆さんの表情を見て、充実した日々を送り頑張っているのだということが伝わってきました。長年勤めていると様々な形で東野に帰って来てくれる卒業生が毎年増えていき、宝物が積み重なっていくような感覚が本当に嬉しいのです。

皆さんが卒業した後も、東野高校は変化し続けています。それはもちろん校内設備の変化だけではなく、私達教職員は、次の時代、次の世代へと繋がる学校に今自分の目の前にいる生徒たちと向き合っています。そして、これから先も皆さんのご兄弟やお子さんを通して、再び「つながる」ことができることを心から願っています。皆さんが帰る場所として、ぜひ東野高校に顔を見せに来てください。待っています。



和気あいあいな雰囲気
が流れていました。

現役の盈華祭に目を向けると、第二の門から正門までは、生徒手作りの風鈴が「未来のなりたい自分」の短冊を揺らし、来校者をお出迎え。キャンパス内には、色とりどりのクラスTシャツを着た在校生の笑顔が溢れていました。中央広場のテントでは、フランクフルトやたこ焼き屋さんに行列がでざ、大講堂ではダンス部の発表や、ファッションショー。体育館では軽音部、多目的ホールでは合唱部が、お祭りの雰囲気彩りを添える演奏会を催して、盛り上がりました。クラス企画は、「金魚救出大作戦」「カラダ探し」「みんなの笑顔とフランクフルトを」など、ちよとひねったネーミングが笑いを誘いました。今回の盈華祭で一番驚いたのは、パンフレットや、校内案内図がQRコードで読み込みスマホで見られることでした。世の変化と時代の流れを感じさせられました。久々の盈華祭に参加して、たくさんの卒業生と直接お会いしてお話してきたこと、とても嬉しかったです。来校した卒業生達もお世話になった先生方とお話しし、久しぶりに懐かしい東野を満喫していました。

この場を借りて、お礼とお願いをさせていただきます。当日、休憩所のテーブルに同村会基金の募金箱を設置させていただきました。ご支援をお願いしたところ三、七九二円の寄付をいただきました。ありがとうございます。また、今回展示した卒業アルバムのうち、同村会で保管できていないアルバムをお貸しいただいた方々、ありがとうございます。あらためて皆さんへお願いとなりますが、同村会では、全ての卒業生の思い出の詰まったアルバムを保管したいと思っております。盈華祭などでアルバムを展示するのには、残念ながら保管できない卒業アルバムが若干あります。今、入手する方法としては対象になる卒業生に寄付をお願いするしかありません。

四年振りに一般公開された盈華祭。まだコロナの影響もあり、一般公開は三日のみの上、午前、午後への入れ替え制および事前予約制にもかかわらず、二〇三名の卒業生の予約がありました。私達「同村会」は、体育館脇の教室で、卒業生の休憩所として参加しました。もちろんただの休憩所ではなく、入口から時計回りに、一期生から今年卒業の三十六期生迄の写真や卒業アルバムを展示して、正面には開校当時にTVに取り上げられた東野の映像を放映。航空写真で過去から現在のキャンパスを振り返る展示もしました。

この場を借りて、お礼とお願いをさせていただきます。当日、休憩所のテーブルに同村会基金の募金箱を設置させていただきました。ご支援をお願いしたところ三、七九二円の寄付をいただきました。ありがとうございます。また、今回展示した卒業アルバムのうち、同村会で保管できていないアルバムをお貸しいただいた方々、ありがとうございます。あらためて皆さんへお願いとなりますが、同村会では、全ての卒業生の思い出の詰まったアルバムを保管したいと思っております。盈華祭などでアルバムを展示するのには、残念ながら保管できない卒業アルバムが若干あります。今、入手する方法としては対象になる卒業生に寄付をお願いするしかありません。

現役の盈華祭に目を向けると、第二の門から正門までは、生徒手作りの風鈴が「未来のなりたい自分」の短冊を揺らし、来校者をお出迎え。キャンパス内には、色とりどりのクラスTシャツを着た在校生の笑顔が溢れていました。中央広場のテントでは、フランクフルトやたこ焼き屋さんに行列がでざ、大講堂ではダンス部の発表や、ファッションショー。体育館では軽音部、多目的ホールでは合唱部が、お祭りの雰囲気彩りを添える演奏会を催して、盛り上がりました。クラス企画は、「金魚救出大作戦」「カラダ探し」「みんなの笑顔とフランクフルトを」など、ちよとひねったネーミングが笑いを誘いました。今回の盈華祭で一番驚いたのは、パンフレットや、校内案内図がQRコードで読み込みスマホで見られることでした。世の変化と時代の流れを感じさせられました。久々の盈華祭に参加して、たくさんの卒業生と直接お会いしてお話してきたこと、とても嬉しかったです。来校した卒業生達もお世話になった先生方とお話しし、久しぶりに懐かしい東野を満喫していました。



大同窓会

参加する人～👏!
できない人～😭!

- くすのきホール (所沢駅 東口より徒歩1分)
- ウェスタ川越 (川越駅 西口より徒歩5分)
- サクラタウン (東所沢駅より徒歩10分)
- 2025年6月29日(日) ● 2025年7月6日(日)

NEW
会場候補
開催候補日



↑アンケートフォーム↓

すべての卒業生」と、退職された先生を含めお世話になった「すべての先生方」、総勢約一万二千人を対象とした大同窓会です。現在、会費最大五千円程度で、企画検討しております。(※注・決定ではありません!!)尚、会員には未成年者もいるため、お酒の提供は致しません。現時点での「参加・不参加」を、同封しました葉書または、左記のアンケートフォームより回答をお願いします。

また、ご意見も募集しております。会場について、会費について、ご意見もアンケートフォームよりお願い致します。

info@dousonkai.com

<https://form.run/@h-dousonkai-fj4baNPmfG1QrXAIPOFI>

保管できていない卒業期は、四期、三十四期、三十五期、三十六期になります。寄付をいただける方は、同村会までご連絡ください。寄付していただいたアルバムは、責任を持って大切に保管させていただきます。よろしくお願いいたします。

卒業生の「ちから」

info@dousonkai.com

卒業生のちからで、同村会、そして東野高校を支えてください。イベント企画・プロデュースの仕事をしている卒業生の方「大同窓会企画」に知恵と力を貸して下さい。印刷屋さん、外構工事・石材屋さん、ご連絡お待ちしております。また「こんなお手伝いできますよ!」もお待ちしています。

現役生から見た学校生活

土田 成海さん(二年生)

私が初めて東野高校を知ったのは中学時代に通っていた塾でした。成績が伸びずに悩んでいた時、「個々のレベルに合わせてくれる」「大学進学率が高い」といった理由で東野高校を勧められました。そこで十月の個別相談会や部活動体験会に参加し、勉強と陸上競技を頑張りたい」という話をしました。私の話を親身に聞いてくださり、また体験会での部活動の雰囲気の良い良さが決め手となり、東野高校への進学を決断しました。

中学生の頃からの大きな成長に、自分自身も驚いています。一年次の担任であり顧問であった齋藤先生から「ただ速く走れるようになるだけでは無意味。レベルアップしていく過程で何を学び、何を得るかが大切」ということを言われ続けてきました。これからまだまだ上を目指していくのではなく、「チームメイトとの関係性」「親や学校に対する感謝」など色々なことを念頭に置きながら競技に取り組んでいきたいと考えています。

そして、入学してから早くも一年半が過ぎました。学習面では、授業中は私語をせず一生懸命に勉強をし、定期考査前は友達と遅くまで校内に残って勉強を教え合ったりしました。体育祭や文化祭などの学校行事では、多くの笑顔の中で様々な思い出をつくることができました。ですが、私が一番力を注いだことは、陸上競技部での活動です。顧問の先生と相談しながらランニングフォームの改造に着手し、先輩方と声を掛け合いながら苦手とする長い距離を走るトレーニングにも耐えてきました。その結果、

今後の個人目標は、東野高校初の100m走で十秒台を出し、インターハイに出場することです。陸上競技部全体としても、男女問わず多種目に渡って活躍できるように部長としてチームを引っ張っていきたくと考えています。そして、ゆくゆくは「埼玉・高校・陸上」でネット検索をかける、「東野高校」が一番に出てくるようなチームになってほしいと思っています。一度しかない高校生活を後悔なく過ごせるように、視野を広く持ちながら毎日を過ごしていこうと思います。

専門とする100m走では東野高校記録の十一秒〇〇をマークし、200mや400mリレーでは県大会の準決勝まで進むことができました。



雲外蒼天 ~Beyond the Max~

6月23日(金)

第25回 体育祭

総合グラウンドでの体育祭。クラス対抗の「8の字大縄跳び」「リレー」のほか、学年を縦割りにした「団」対抗による、綱引き、玉入れなど熱戦が繰り広げられました。



部活動の活躍

吹奏楽部

- 令和5年度吹奏楽コンクール
地区大会 金賞
県大会 金賞
西関東大会 金賞
- 日台友好交流吹奏楽演奏会 出演

ダンス部

- 全国高等学校ダンスドリル選手権大会2023
関東地区大会
HIDHD男女混成部門Small編成 準優勝
全国大会
HIDHD男女混成部門Small編成 出場

野球部

- 第105回全国高等学校野球選手権埼玉大会
2回戦進出
- 秋季埼玉県大会西部地区予選
代表決定戦進出

男子サッカー部

- 第102回全国高等学校サッカー選手権埼玉大会
決勝トーナメント進出

男子バレーボール部

- インターハイ埼玉県大会西部地区予選
予選突破 県大会出場
- 全国私立高等学校バレーボール選手権埼玉県大会
9位

男子バスケットボール部

- インターハイ埼玉県西部地区予選
2回戦進出

男子テニス部

- 新人大会テニス競技西部地区(男子シングルス)
M・Nさん(1年生) 2次予選進出

写真部

- 令和5年度全国高等学校総合文化祭出場
T・Yさん(3年生) 作品名「トランスマ」

